

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー

藤谷、石川陽、福田、竹下、平山、松下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	4人	5人	19人

前回の改善計画

職種の違いや勤務時間の関係で、必要な情報の共有がスムーズにいかないことがある。ミーティングに参加できない職員にも必要な情報が洩れずに伝わるように、パート職員の意識向上を図る。又管理者・ケアマネ・当日のリーダーが連携し、連絡ノートへの記載事項職員間の連携を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

朝のミーティングでの情報交換、連絡ノート閲覧による情報収集及び口頭伝達による情報の共有等を強化した。特に新規の利用者や状況に変化のある利用者の情報を職員全員が知り、理解し、ケアに活かせるように取り組んだ。結果、7割の職員の取り組み改善が出来た。しかし3割の職員は改善できなかった。正職員・パート職員いうカテゴリーが問題ではなく、その職員の資質によるところが大きいと考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	13	0	3	19
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	11	3	3	19
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？	4	11	1	3	19
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	10	3	3	19

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

サービス利用開始時には、利用者及び家族からの情報やニーズ等をミーティング等で確認し、まず必要と思われる支援を取り入れた計画を立てる事が出来た。疑問点は管理者やケアマネ、当日のリーダーに確認する事でスムーズなケアに繋がった。個々の職員レベルでは、当日の利用者の表情等でも状況把握が出来ていた。又送迎時の家族との世間話の中でも必要な情報をキャッチし、関係作りや支援に取り組む事が出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族・介護者との関り方が解らない職員の存在もある。

利用時の声掛けや、プランに基づいた訪問は出来ているが、それ以外の必要性を見出してケアに繋げる事までは出来ていない。通い・泊り利用者からの色々な訴えがあつても、すぐに対応する事が困難で待たせてしまう事もある。職員の価値観や考え方、利用者への視点が異なる。外部研修に参加し専門的な知識や技術を学ぶ意欲が職員全体に乏しい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

職員の資質を向上させる為の方法を考え、実行に繋げる。

担当の利用者を決めて、その利用者に関しては担当職員が責任を持って、関わっていく。

- ・把握したニーズに基づいてケアマネと連携してケアプランを考える。
- ・ケアが適切に実施出来るように、職員間の調整役になる。
- ・担当利用者について記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年3月27日（18:00～19:50）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	藤谷、石川陽、福田、竹下、平山、松下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	5人	5人	19人

前回の改善計画	職員全体で取り組めるように、日々の業務の中に利用者と関われる時間を作れるように、勤務配分を行う。ケアマネからの情報やケアプランを確認する。又確認した内容を職員間で話し合い、利用者の目標に沿ったケアに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議の中で数例の事例検討を重ねる事で、利用者の目標を把握できた。そのことが日々の業務の中での利用者との関りを作る事に役立った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	9	2	7	19
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	11	1	6	19
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？	0	13	0	6	19
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3	6	3	7	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
全体会議での事例検討会に参加する事で、問題点や課題の把握が出来ている。 利用者と日々の会話をする中で、現状での希望や不満などを聞き、把握する事が出来、全体がその利用者のニーズに沿ったケアに近づける様、報告や発言が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランに対して馴染が薄い職員もいて、利用者の課題解決の為のプランと実際のケアの繋がりが理解できていない。ケアプランは職員全員が閲覧できる様にしているが、閲覧しても実際のケアとのつながりを自覚できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランに関しての勉強会を持ち、ケアプランについて理解を深める。 ・ケアプランはなぜ必要なのか ・利用者や家族のニーズは、ケアプランにどのように行かされるのか ・目標とケアとのつながりについて 等	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年3月27日（18:00～19:50）
3. 日常生活の支援	メンバー	藤谷、石川陽、福田、竹下、平山、松下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	4人	1人	12人	19人

前回の改善計画	生活や症状等が安定している利用者に対しても、日々のかかわりの中で利用者が遠慮なく発言出来る機会を作っていく。例えば担当スタッフを決めてコミュニケーションの機会を持つ等。利用者の体調の変化に気づいた時は、早めに他のスタッフと情報を共有し複数でのケアに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の関りの中で、利用者からの発言の機会を多く作り、又発言を誘い出すコミュニケーションはしっかりとれている。利用者の体調の変化に敏感で行動が早い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	7	8	19
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	8	2	5	19
③	ミーティングにおいて、本人の声にならないう音をチームで言語化できていますか？	3	7	4	5	19
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	14	0	2	19
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	14	1	2	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の表情の変化からも、敏感に身体面や精神面の変化に気づき、気づいた時の対応(情報を共有し、報告し医療や介護に繋げる等)は徹底している。 関りの中で知りえた利用者の情報をミーティングで発言し共有している。食事や入浴・排泄等にも、利用者の動きや希望に合わせ、満足されるように心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自宅での生活環境を知る為の方法や手段の技術や知識が乏しく、未熟である。又その方法を具体的に指導するために管理者や熟練した職員が、自宅でのケアに同行する為の時間的余裕が取れない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>現在開催している事例検討会の内容を深める事で、職員一人一人が利用者の気持ちや思いを聞き取る力をつけ、利用者の気持ちを引き出す為のスキルを身に着ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供の場での課題を、自宅での生活や介護の情報と照らし合わせて検討する事で、より多くの情報を共有し合い、日々のケアに活かせる様にする。 ・検討内容に家族の意向も取り入れる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年3月27日（18:00～19:50）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	藤谷、石川陽、福田、竹下、平山、松下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	11人	4人	4人	19人

前回の改善計画	会議などに出席しないスタッフも、送迎や訪問ケアなどに従事する時に、家族や地域の方に会う機会がある。そういう機会を自分で有効活用して、地域での暮らしの情報を把握する等し、又自分が知りえた情報を、職場のミーティング等で共有する事に努め支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	直接職員が地域の方と会う機会は少ないが、送迎や訪問ケア時の利用者やご家族との会話の中で、地域の情報を把握出来る様努力した。又その情報を職場でのミーティング等で共有している。話題の少ない職員には、情報を持っている職員がその情報を伝える事で、地域の暮らしへの理解が深まり気付きが増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	9	2	8	19
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	4	5	10	19
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	8	8	19
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	1	6	11	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎や訪問ケア等のサービス提供時に、利用者やご家族から地域の状況や自宅での過ごし方等を聞き暮らしの支援に繋げる事が出来ている。当事業所も町内会に所属し回覧板の受け渡しをする中で、地域の活動を知ったり近隣の住人とのコミュニケーションが出来ている。定期的に開催する運営推進会議には委員として町内会長・民生委員・地域包括支援センター職員等の出席があり、地域との連携が図れている。地域の社会資源についてもそういう機会に把握する事を心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
上記の「出来ている点」について、現在は一部の職員が出来ているだけで、全職員が出来ているとは言えない。職員によって、理解に差がある(例えば、民生委員や社会資源とは何?等…). 事業所として地域と接する時間が限られる事から(職員の大半は地域の住人ではない為)、利用者の地域での過ごし方の詳細の把握には乏しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
送迎や訪問ケアサービス提供時は、地域と接するチャンスであると職員全体が意識して捉えケアを実施する事で、点のサービスを線で繋いでいく。具体的には、ルーチンケアのみに終わるのでなく、視点を広げる事で、利用者・ご家族のさらなるニーズに気付き、地域密着型事業所として幅広い支援に繋げられるようにする。職員が交代で運営会議に出席したり、回覧板の受け渡しをしたりする事で、地域の住人の方々と交流出来る機会を増やしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 3月 27日 (18:00 ~19:50)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中澤、石田、上田、浦野、水足、土田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	2人	11人	19人

前回の改善計画	本人や家族がどのような生活を望んでいるのかを、ケアプランに反映していく。 地域にある社会資源の情報（内容を文章化したり、写真や地図で示したり）をファイルして、情報提供しやすくしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の関りの中で、本人やご家族の要望等の情報を収集し職員間での共有は出来ている。しかしそれらをケアプランに反映するまでのクオリティに欠けている為、支援に迄は至っていない。又、知りえた社会資源情報を利用しやすいようにファイルしたりする時間的な余裕がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	4	6	9	19
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	9	0	8	19
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1	10	2	6	519
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	2	11	1	5	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎支援や通い利用等の本人・ご家族との会話等の中で、生活について把握し職員間で情報を共有し、利用者への支援に繋げている。例えば、地域での百歳体操参加、不安時の泊り希望の柔軟な受け入れ、在宅へ訪問しての介護者への介護負担軽減への支援(排泄・更衣・配食・掃除・買い物・安否確認等)や通い利用の追加等、利用者・ご家族のニーズにタイムリーなサービス提供が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の勤務時間帯の違いや、職種の違いにより、関り方や関わる部分に差がある。地域の社会資源を利用しての支援は一分の職員しか出来ていない。利用者のカルテ記録に限りの詳細までを落とし込むことが出来ていない(時間的余裕がない、関わった職員の気づきがない等の理由から)為、個別性のない通り一遍の支援になっている部分もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事を知る努力をする。町内の回覧板に地域の行事や社会資源として活用できそうな情報が載っている事を職員が認識できるように、回覧板を皆が閲覧できる様にする。 ・地域行事へ積極的に参加し、地域の特性を知ると共に、地域住民と親しくなる事から始める。 ・職員一人一人が自分の実施したケアに責任を持ち、詳細に記録する習慣をつける。 ・職員全体に地域への興味や関心を広げる為に、一人でも多くの職員にその機会を作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 3月 27日 (18:00 ~19:50)
6. 連携・協働	メンバー	中澤、石田、上田、浦野、水足、土田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	6人	2人	11人	19人

前回の改善計画	<p>コロナが落ち着いたら、地域の方々も参加が出来る行事を計画する。</p> <p>事業所の行事を回覧板等にのせ地域に発信し参加の呼びかけを行う等、地域の方が足を運びやすい事業所づくりをする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>9月末に当事業所の納涼祭を計画。法人の他の部署の職員の協力を得て開催。町内の回覧板に案内を掲示させて貰い、利用者、ご家族、地域の住民の方々(子供達も含め)多くの参加を得、一緒に楽しむ事が出来、好評であった。催し物の他に、屋台(たこ焼き、焼きそば、綿菓子、かき氷、ヨーヨー釣り)等提供出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	0	3	4	12	19
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	17	19
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	1	4	14	19
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	2	15	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
法人内では医療・介護の合同会議を週に1回定期開催している。利用者の心身及び介護や生活の情報を伝え共有や連携が出来ている。町内の公民館で毎週月曜日に実施されている高齢者の百歳体操には、現在4名の通い利用者が参加(職員が必ず付き添って一緒に参加)。地域の住民の方々との交流を楽しんでいる。付き添いの職員は参加されている民生委員さんはじめ町内の役員の方々と、近況報告等行い親しい関係を築けている。又、運営推進会議もコロナ終息に伴い、定例の2か月に1回の開催が復活出来、委員として地域包括支援センター、町内自治会の方々に参加頂くことが出来ている。職員の一部ではあるが、地域の防災訓練への参加が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員全員が日々の業務以外にも、利用者や家族を取り巻く様々な事に眼を向ける、或いは興味関心を持つという所までには至っていない。回覧板も、出来るだけ次の方に早めに回す必要もあり、職員全員が閲覧できる状況を作っていました。回覧板の情報で地域のイベント等に参加したくても、会場に段差がありたりすると利用者の同行は困難で諦めざるを得ない事もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
一部の職員だけでなく、どの職員も地域に出かけて交流が図れるような環境を作る。事業所側も外部の方々が参加できる行事計画等を立て、地域の各種機関・団体等を呼べるような機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 3月 27日 (18:00 ~19:50)
7. 運営	メンバー	中澤、石田、上田、浦野、水足、土田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	2人	13人	19人

前回の改善計画	<p>コロナ感染の心配がないようになつたら、運営会議や地域体操等の場を通して、又積極的に地域に出ていく機会を増やし、風通しの良い意見が言いやすい事業所にしていく。</p> <p>出来るだけ多くの職員が地域との交流に参加できる様にする。又参加した職員は積極的に地域の方々とのコミュニケーションを図り、地域の状況を利用者や他の職員に伝え社会参加に繋げていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ終息後の令和5年度の運営推進会議は、2か月に1回順調に実施出来た。回覧板から地域の行事等の情報を把握し、参加する機会を作れる様に検討・努力した。町内の公民館で毎週月曜日に実施されている百歳体操には、利用者の方3~4名と付き添いの職員1名が當時参加し交流を図る事が出来ている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	2	4	12	19
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	3	8	19
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	5	12	19
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	4	13	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>毎月定例で職員全体の会議及び勉強会を開催し、事業所のあり方等についての意見交換が出来ている。</p> <p>利用者及びご家族からのご意見やケアに対する苦情等があった場合には、速やかに上司へ報告し情報の共有を図り、解決策を講じ速やかに対応する事が徹底出来ている。</p> <p>昨年はコロナ禍で中止していた夏祭りを3年振りに開催し、地域の方々にも参加して頂き、交流を楽しむ事が出来た。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>地域への積極的な取り組みについては、夏祭りと百歳体操参加の他はまだまだである。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>職員からも事業所の運営についての意見や提案が出来る様に、報告・連絡・相談を今迄以上に密に行って行く。職員全員が、業務に従事する時間のあらゆる場面で気づきを持ち積極的に意見を出し合える様な活気ある事業所作りを目指す事で、事業所の質の向上に繋げていく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 3月 27日 (18:00 ~19:50)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	中澤、石田、上田、浦野、水足、土田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	0人	2人	15人	19人

前回の改善計画	オンライン研修等に自分から積極的に参加する。 運営推進委員会に、委員以外のスタッフも交替で参加し、意識をたかめる。
前回の改善計画に対する取組み結果	必要性のある職員は参加出来ているが、自ら積極的に参加する職員はいなかった。運営推進会議には委員以外の職員が交代で参加する事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	2	6	19
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	5	4	10	19
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	17	19
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	13	2	4	19

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職場内の研修は月に一回実施できている。担当制で高齢者に関わる多くの課題を探し、勉強会式に実施し現場に活かせるよう努力している。職員一人ではあるが介護福祉士の取得が出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	外部研修の参加が出来ていない。地域連絡会の参加も職員が限られており全職員の参加に至っていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	外部研修の案内を多く取り入れ研修参加を促していく。又、参加できる機会を持てるよう勤務体制などを考慮する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 3月 27日 (18:00 ~19:50)
9. 人権・プライバシー	メンバー	中澤、石田、上田、浦野、水足、土田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	4人	13人	0人	2人	19人

前回の改善計画

勉強会を開催し成年後見制度の理解を深める。
身体拘束・虐待・プライバシー・個人情報の保護に関しての定期的な勉強会を継続。
利用者への適切な言葉遣いが出来る様になる。

前回の改善計画に対する取組み結果

成年後見制度の理解は深められていない。身体拘束、虐待、プライバシー個人情報の保護に関しては年間の勉強会予定に組み入れられており実施出来ている。利用者への言葉づかいはかなり改善出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	6	0	0	19
②	虐待は行われていない	15	4	0	0	19
③	プライバシーが守られている	14	4	1	0	19
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3	3	9	19
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	7	1	1	19

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①～⑤までに関しては職員間で意識しながら出来ている。成年後見制度の活用は利用者1名の活用がありケアマネジャーからの制度の勉強会実施。ケアマネジャーの書類作成、担当者会の様子等、傍で関心を持ち興味を持っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①、②に関して気になる言動はないが、日常の中での目立たない言動に対して注意が出来ていない事もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

勉強会を通じ制度の理解を深めていく。

○外部評価

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか? ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	5	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか? ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	5	0	1
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	0	2

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】	4	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	1	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4	1	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	4	1	1

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】	5	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4	1	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	1

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】	5	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	3	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	1	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	0	2

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】	6	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	4	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】	6	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4	1	13
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	3	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	0	0

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 杏友会	代表者	野津原 昭	法人・事業所の特徴	母体が医療法人である事から医療連携がスムーズに取れる。看護師・准看護師の資格を持つ職員が多く就業しており、医療依存度の高い利用者も安心して利用できる。セラピストを配置して通い利用者へのリハビリ訓練を実施する事で、筋力低下による転倒・骨折予防に力をいれている。又地域の住民の方との交流、外出レク等を毎月計画し地域とのつながりの中でその人らしい生活の支援が出来る様心がけている。					
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ゆう	管理者	中澤 晃子							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	1人	1人	1人	人	2人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月配布している月の行事等の予定表に、職員の写真と名前を載せるようにする(月2名程順番に載せる)。 ○利用者の変化を察知し適切な対応がどの職員も出来る様、研修等を通して職員の専門性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月の行事予定表に職員の顔写真と名前を載せ配布し、顔と名前が一致して良かったと喜ばれた。 ○毎月定期的に職場内研修会を開催する事が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員一巡した所で顔写真を載せる事を終了した。その後入職した職員については出来ていない。 ○職種や経験もあるが、職員の学びの意欲や資質に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい職員が入職したら、忘れない様に月の行事予定表に、顔写真と名前を載せる。 ○研修会への全職員の参加を推進する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○居心地の良い環境作り。 ○コロナ感染予防が必要な間は、外部との交流は最小限にとどめる。再開できるペース等は、工夫をして実行。 ○地域の方が気軽に立ち寄れる事業所作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホールのテーブル配置変更やソファーの設置、又コロナ禍でも利用者が楽しめる様、ベランダにウッドデッキを作り環境を整備した。 ○コロナ明けには秋祭りを開催し、地域の方々にも回観板等で参加を呼びかけ、一緒に楽しんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日中ゆっくりとくつろげる空間がもっとあると良いが、施設のハード面に限界がある。 ○久しぶりに地域の方々と一緒に楽しめ良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○季節後の外出の企画をし、近所の方々とのふれあいの場を作る。 ○アクティビティ等の知識を広げ、ゆっくりとくつろげる空間作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○当介護事業所や利用者の方について地域の理解を深める。(元気な高齢者と介護が必要な高齢者の違い等) ○無理のない地域との交流について、考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で中止の期間もあったが、現在地域の健康体操に毎回3~4名の利用者とスタッフが参加している。 ○運営推進会議に出席の地域委員の方々と一緒に考えることが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の会場は段差等があり、介護度が高い利用者の参加が困難である。 ○スタッフ数に余裕がなく同伴者が居ない場合、利用者の地域参加が困難になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所主体の認知症講座を地域で開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所が属する地域以外から利用している方も多い。それらの地域における交流の機会も持てるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の属する地域との交流は、健常体操や回観板、民生委員さん等を通して出来ている。他の地域に出向くことはまだ出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日利用者が安全に快適に事業所で過ごせるように、業務を優先しながら地域に出向く時間を作る事が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内の社会資源を発掘する。 ○当事業所が町内の社会資源になる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○運営委員会の定期開催が困難な状況下における、開催方法について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍では会議の2か月に1回の開催が出来ない事もあった。今年度以降は定期開催が出来ている。地域の防災訓練の情報等を共有できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の役員交代に伴い、親しくなった委員のメンバーの方も交代となり、検討課題の継続が難しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○こちらから地域に溶け込む為に、毎日の業務の中でも時間を作る努力をする。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所内での訓練の実施に努める。 ○地域での開催が決まれば積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所内の避難訓練は年2回実施出来た。 ○地域の防災訓練に管理者参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ内容の訓練になってしまいがちである。 ○今後も積極的に地域参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防火訓練・防災訓練を年2回定期実施し、職員の意識向上を図り非常に対応できる力を養う。